

平成26年第2回茂原市教育委員会会議（2月定例会）日程

2月18日（火）13：30～

於：茂原市役所9階会議室

1 開会宣言

2 会議録署名人の指定

3 会議事項

（議決事項）

議案第1号 茂原市民会館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定  
について

（報告事項）

- 1 茂原市立図書館の指定管理者の選定並びに指定管理者の指定について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについて
- 2 平成25年度3月補正予算要求について
- 3 平成26年度教育費予算の概要について
- 4 平成25年度定期監査の結果について
- 5 平成26年第3回（3月臨時会）、平成26年第4回（3月定例会）及び平成26年第5回（4月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について
- 6 その他

4 閉会宣言

5 協議事項

**★(会議結果) 議決事項について、議案第1号は原案どおり可決されました。**

## 茂原市教育委員会会議録

平成26年第2回（定例会）

- 1 期日 平成26年2月18日（火）  
開会 午後1時30分  
閉会 午後2時39分
- 2 場所 茂原市役所9階会議室
- 3 出席委員  
委員長 足立 俊夫  
委員長職務代理者 鎌田 俊郎  
委員 齋藤 晟  
委員 鈴木 一代  
教育長 古谷 一雄
- 4 出席職員  
教育部長 鈴木 健一  
教育部次長（教育総務課長） 中山 邦彦  
学校教育課長 宮本 昌典  
生涯学習主幹 長谷川伊知郎  
体育課長 大和久義照  
中央公民館長 唐鎌 孝雄  
美術館・郷土資料館長 渡辺 哲也  
図書館長 池座 一雄  
教育総務課長補佐 中村 一之  
教育総務課主事 松本 卓也
- 5 署名人の指定  
委員 鈴木 一代  
委員 鎌田 俊郎

- 足立委員長 : 平成26年第2回茂原市教育委員会会議（定例会）を開会します。  
本日の出席人数は5名ですので、定足数に達しており会議は成立いたしました。  
本日の会議録署名人は、鈴木委員と鎌田職務代理にお願いいたします。  
これより会議事項に入ります。  
本日は、議案が1件となっております。  
議案第1号「茂原市民会館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について」の説明をお願いします。
- 鈴木教育部長 : 議案第1号「茂原市民会館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について」ご説明いたします。  
茂原市民会館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定についてご説明いたします。  
この改正は、平成26年4月1日から消費税率が、5%から8%に改正されることに伴う規則の改正をしようとするものです。  
内容は、茂原市民会館の管理及び運営に関する規則第16条別表、市民会館付属設備使用料金を改正しようとするものです。

なお、茂原市民会館使用料は、11月の教育委員会議において、茂原市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて可決していただきまして、平成25年12月議会で可決されておりますので、本体の使用料については既に使用料の改正が行われております。

- 足立委員長 : 議案第1号につきまして、質疑をお願いします。  
色々と細かく照明器具から音響装置、舞台装置、楽器とありますけれど、今では普通となっているDVDプレイヤーとかCDプレイヤーとかミキサー装置とか、そういうものが貸出しに無いんですが、これは持込みのみで貸出しは用意してないということではよろしいですか。
- 唐鎌中央公民館館長 : そのとおりでございます。多少DVDプレイヤーとかあるんですが、コンサート等をやる場合に音が良い悪いがあるので、持ってきていただかないと納得いかないという問題があります。ですので、持ってきていただくことを基本にしています。
- 足立委員長 : 置く必要が無いと判断しているわけですね。  
鎌田職務代理 : 1回の使用料とは、次にあげる使用時間帯ごとの額とするとあるんですが、(1)9時から12時までとか(2)12時から17時までとか。これは例えば、11時から13時まで使った場合は、時間ではなくて時間帯で料金は課せられるんですか。
- 唐鎌中央公民館館長 : 11時から13時ということになりますと、2回ということになります。  
齋藤委員 : 先日、茂原の藻原寺さんが市民会館を写経で使いました。その時に舞台が狭いということで、舞台を広くしましたよね。あの時の使用料というのは、どうなるんですか。変わらないんでしょうか。
- 唐鎌中央公民館館長 : 使用料については、変更ありません。  
条例によりますと、広げた場合に舞台を傷つけるとかそういうことがあった場合には、現状に復しなさいという文言が入っております。
- 足立委員長 : 他にございませんか。無いようですので、議案第1号について採決に入ります。議案第1号について、原案通り可決することにご異議はありますか。
- 各委員 : 異議なし。  
足立委員長 : 議案第1号は、全会一致で原案通り可決することと決定致しました。  
次に、報告事項に入ります。報告事項の1「茂原市立図書館の指定管理者の選定並びに指定管理者の指定について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについて」の説明をお願いします。
- 中山次長 : 茂原市立図書館の指定管理者の選定並びに指定管理者の指定について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについてご説明致します。

指定管理者の選定並びに指定管理者の指定について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについては、教育委員会会議の議決事項ではありますが、業者決定が1月30日(木)、議案提出が2月5日(水)であり、教育委員会会議を召集する時間的余裕がないことから、1月30日(木)の第1回定例会終了後に協議させて頂き、その後、茂原市教育委員会行政組織規則第8条第1項の規定により教育長の臨時代理で処理をいたしました。

同規則第8条第3項により、「臨時に代理したときは、その事項を最近の会議において報告しなければならない」とされていることから、今回の教育委員会会議において報告を行うものです。

それでは、茂原市立図書館指定管理者選定委員会の審議結果について、ご報告致します。

指定管理者の候補者とすべき者は、700点満点中599.5点を取得した株式会社図書館流通センターを選定いたしました。指定の期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までとなります。

指定管理者の候補者の補欠とすべき者は丸善株式会社が選定されております。

- 足立委員長 : 報告事項の1につきまして、質疑をお願いします。  
3ページが一番下、役員数及び社員数というところ、社員が6,100人いらっしゃるんですが、千葉県の中では茂原の他にもう1市というお話を少し伺いましたが、6,100人もいらっしゃるということは他の都道府県でもかなりの市町村に入っているということなんですか。
- 鈴木教育部長 : 今回指定を受けました図書館流通センターの受託実績についてご報告させていただきます。  
受託につきましては、全国で390館受託しておりまして、その390館の内、指定管理の受託は191館ございます。千葉県内では、5市13図書館を受託しておりまして、具体的には野田市、習志野市、八千代市、我孫子市、袖ヶ浦市、今度茂原市がそこに加わるという形になります。  
指定管理につきましては、2市でございます。3市が業務委託という形で千葉県では受託実績がございます。
- 足立委員長 : 390館、さすがに多いですね。内、指定管理が191館で、県内では5市13施設ということでよろしいですね。かなりの実績があるところだということですね。ちなみに、事務方の方はどなたかこの県内の5市のいずれかに視察に行ったことはありますか。
- 長谷川生涯学習課主幹 : 習志野市の図書館に伺ってまいりました。  
利用者も多くなったと伺っております。
- 齋藤委員 : 指定の期間、平成26年4月から平成31年3月まで委託してやっていただくということですか。これは賃料は発生するんですか。
- 鈴木教育部長 : 指定管理料というのは、運営経費ですので賃料というのは床の借上げ料ということですか。床の借上げ料については、別途、市が南総通運さんにお支払いするという形になります。あくまでも運営管理分だけです。
- 齋藤委員 : では、図書館流通センターさんは茂原市に対しては、床の借上げ料は払わないですか。
- 鈴木教育部長 : はい。  
齋藤委員 : 茂原市は、南総通運さんに借上げ料を払うということですか。  
鈴木教育部長 : 場所を提供した流れの中でやってもらうということです。  
足立委員長 : 他に質問のある方いらっしゃいますか。よろしいですか。  
それでは、次に報告事項の2に入ります。  
報告事項の2「平成25年度3月補正予算要求について」の説明をお願いします。
- 中山次長 : それでは、平成25年度3月補正予算要求についてご説明申し上げます。  
歳出の方ですが、教育総務課で奨学資金の貸付を減額補正いたします。これは新規貸付者が少なかったことによるものです。学校教育課、図書館につきましては、寄附を頂きましたのでそれに対応するため、備品購入と図書購入費を計上しております。  
美術館につきましては、空冷ヒートポンプチラー取替工事を行いまして、その工事の執行残が8,162千円ありますので、それを減額補正いたします。次に、追加資料になりますが、これは学校の耐震化に伴う補正予算でありまして、今まで発注した中で3校不調となった建物があります。人件費、資材等の高騰が原因となっているようでありますが、それに対応するために3月補正を全部で9棟分、小学校5棟、中学校4棟分の工事費の補正を行うものです。332,747千円を追加補正いたします。
- 足立委員長 : 報告事項の2につきまして、質疑をお願いします。  
鈴木委員 : 奨学金の貸付金が減額補正ということなんですが、新規者が少ないためということで、何人くらいになっているんでしょうか。
- 中山次長 : 当初予算要求では、大学生60人、高校生7人の67名を予定していたんですが、申請してきたのが大学生と専門学校生合わせて15人ということになっています。
- 鎌田職務代理 : 先程、小学校5棟とおっしゃいましたが、ここに3つだけ書いてあるのはこの後別に2つあるんですか。
- 中山次長 : 二宮小が2棟、本納小が2棟、茂原小が1棟になります。下は、東中が2棟、早野中と富士見中が1棟ずつです。

- 足立委員長 : それでは、報告事項の2「平成25年度3月補正予算要求について」はよろしいですか。では、報告事項の3「平成26年度教育費予算の概要について」の説明をお願いします。
- 中山次長 : それでは、教育総務課の分についてご説明致します。  
教育総務課では、歳出として1,059,387千円を要求しております。これの大きなものは、小学校の耐震化工事の費用です。これが952,860千円。行うのは、五郷・豊田・鶴枝・東部・萩原小の9棟分でございます。あとは、例年通りの予算ですが、奨学金については2年連続申請者が少なかったものですから、減額して要求しております。
- 宮本学校教育課長 : それでは、続きまして学校教育課の予算の概要について説明させていただきます。  
歳入ですが、幼稚園費補助金が21.95%増えて16,104千円となっておりますが、就園奨励費補助金の単価の引き上げ分がこの増加になっているところです。続きまして、歳出の方に移ります。まず、小学校費につきまして、学校管理費それから教育振興費の予算の中で、組み換えがございまして、管理費の方へ大きくマイナス、振興費の方へ大きくプラスとなっております。総じまして、小学校費の中では平成25年度まで掛かっておりました、社会科の副読本「私たちの茂原」、この改定に伴う印刷製本費が220万円ほど掛かっていたものが、26年度はありませんので減額となります。また、緊急雇用創出事業で採用しておりました図書館支援員も26年度は雇用しないということになりますので、3,300千円程の減になっています。また、学校教育費から教育総務課の方へ予算の組み替えがございましたので、小破修理あるいは原材料費等が移った関係で1,700千円程が学校教育課からは減額となっております。小学校費で申しまして、7,200千円程のマイナスになります。  
続いて中学校費でございしますが、これも組み替えがあった関係で、総じて申しますと、特別支援教育支援員の2名分が、緊急雇用の雇入れだったものが報償費での支払いというように雇用形態が変わることがございまして2,000千円程、それから小学校と同じく小破修繕の原材料費等1,300千円程が教育総務課の方へ移るというかたちで、総じて3,220千円程減額となっております。  
続いて幼稚園費でございしますが、先程申しました歳入の方でも出て来ましたが、就園奨励費補助金の単価の引き上げが25年から26年に向けての単価引き上げ分として12,070千円程増額になっています。また、特別支援教育支援員を幼稚園に1名増やす関係で、1,340千円程が増えています。  
保健体育費の中の単独校給食運営費ですが、新しい学校給食調理場建設に向けての審議会等を開催する予定がございしますので、委員の委嘱、謝礼等が予算計上されています。約610千円程の増額というように予算要求をしております。  
中央学校給食共同調理場の支出の方が11,000千円程マイナスになっておりますが、これは25年度に比べまして、児童生徒数が減少しております。共同調理場での調理分と致しまして、267名少なくなるという関係で賄い材料費がこの金額分マイナスになっています。
- 長谷川生涯学習課主幹 : それでは、生涯学習課の予算の概要について説明させていただきます。  
始めに1ページ歳入につきまして、社会教育費委託金でございしますが、本年度24万円の歳入を予定しております。これは、ミヤコタナゴの保護増殖事業業務委託金ということで、例年県の6月議会におきまして額が確定した後に、茂原におきましては、6月の補正でお願いしていた事業でございしますが、財政当局との協議の上、26年度から当初から予算を入れてまいります。  
続きまして、衛藤五郎音楽文化振興基金繰入金でございしますが、26年度1,400千円の増となっております。こちらにつきましては、昨年は茂原交響楽団が藻原寺さんの演奏等をいたしましたために、この繰入金が必要ではありませんでしたが、また歳出でもご説明致しますが、26年度

については繰入金が必要だということで1,400千円を歳入として組み込んでおります。

続きまして歳出ですが、3ページの生涯学習課をご覧ください。社会教育総務費でございますが、26年度は21,691千円、25年度は19,092千円ということで2,599千円の増となっております。これの主な要因でございますが、4項目ございます。1つ目は、社会教育センターのトイレ改修の事業でございます。2つ目は、茂原交響楽団の補助金が1,400千円、また3つ目は、先程の県の補助金から頂けるミヤコタナゴの環境整備、それから4つ目は、広域の教育負担金が増となったものが大きな要因でございます。

続きまして、4ページになりますが、図書館の図書館費についてご説明致します。26年度につきましては、210,749千円、25年度は29,391千円ということで、181,358千円の増となっております。こちらの説明につきましては、指定管理料が約80,000千円を超えるものです。あとこちらの図書館の情報システム、また南口駐車場の利用料金、床の借上げ料、現図書館から新図書館への本の移設費、現駅前学習プラザの改修工事費、また新たに書架を購入いたしますのでその備品等が主な要因でございます。

大和久体育課長 : それでは、体育課の予算についてご説明させていただきます。

まず、歳入予算についてですが、保健体育使用料が595千円の増額となっております。これは、野球場それから市民体育館の各使用料の実績増によるものでございまして、次に雑入でございますが、200千円の減額となります。内容は、千葉県スポーツ振興基金助成金は2年に1度交付されることとなっておりますが、平成26年がこの助成金が交付されない年であることから200千円の減額となるものでございます。

次に、歳出予算でございます。まず、保健体育総務費についてでございますが、総額317千円の増額となっております。主な内容につきましては、体育協会活動補助金の増額によるものでございます。次に、体育施設費について申し上げます。平成25年度の21,275千円に対しまして、26年度は22,575千円ということで1,300千円の増額となっております。主な内容ですが、建築基準法の定めによりまして3年に1度実施することとなっております特殊建築物定期調査業務委託料、これが1,000千円弱の増、その他消費税の増税分の増額等によるものでございます。以上でございます。

唐鎌中央公民館長 : 中央公民館、本納公民館、鶴枝公民館、市民会館についてご説明させていただきます。

2ページをご覧くださいと思います。歳入ですが、中央公民館26年度は、1,537千円です。大きく変わったところは、雑入が43千円ということで、伸び率がすごい数字になっておりますが、24年度決算で49千円ほどありましたので、実績に基づいた数字を載せております。本納公民館は1,140千円です。それから鶴枝公民館は713千円、市民会館は2,820千円です。

それから、4ページの歳出の方をご覧くださいと思います。26年度予算、中央公民館は8,573千円で446千円ほど減っておりますけれども、大きな要因としては光熱水費の減でございます。本納公民館ですが、6,563千円です。1,099千円ほど減っておりますが、大きな要因としては工事請負費の減でございます。鶴枝公民館ですが、5,801千円です。636千円増となっておりますけれども、これは逆に入口の自動ドアを直す工事請負費の増となります。市民会館ですけれども、8,379千円ということで、597千円ほど減となっておりますけれども、大きな要因としては、光熱水費及び修繕料の減となっております。

渡辺美術館・郷土資料館長 : それでは、美術館・郷土資料館の来年度予算を説明させていただきます。

まず、2ページ、歳入でございますが、238千円を予定しております。これは、市民ギャラリー、実習室等の使用料136千円。それと図録代等の販売102千円の合計でございます。

続きまして、4ページの歳出でございますが、18,914千円を要求しております。前年度と比較しまして、31,995千円、率にしまして62.85%の減となっております。これは25年度、空調関連工事で36,245千円を予算化したもので、それによって26年度は減額になっております。その他につきましては、例年と同じでございますけれども、26年度に特に変わったところということで、燻蒸消毒の委託料として1,950千円を予算化しております。また、1階に男女1カ所ずつ計2カ所の洋式トイレの交換工事を予定しております。以上です。

長谷川生涯学  
習課主幹 : 青少年指導センター費につきましては、26年度1,506千円、25年度が1,487千円で19千円の増ですが、事業等についての変動はなく事業等での増ということではありません。

齋藤委員 : 教育総務課ですが、やはり耐震化の工事が一番大変だと思います。金額的にも張って。その中で、最近落札できないというような事態が次から次へと起こっているようですが、これは大丈夫ですか。耐震化はまだ残っているんですけども。思っているように展開できますか。

中山次長 : 1月に発注した中で、4件中3件が不調になったということなんですけれども、設計の組み方で単価の扱い方に違いがあったということもあるんですが、一番の要因は資材と人件費の高騰。人件費をかなり大幅に上げないと人が集まらないという状況で、入札を行った結果を見た中で、今回補正を出していったと。新年度につきましては、組終わった後のことだったので、とりあえず新しい単価で組んであるんですが、新年度だと鶴枝小について年度早々に発注していく予定なんですけれども、それは9棟の予算を組んでありますので、その中で調整して一旦発注すると。残りの8棟については、発注が年末か年明けくらいの発注になりますので、それは状況を見た中で、9月補正とか12月補正で対応していきたいと考えております。

齋藤委員 : ということは、無理はあるけれども計画通りに進めていくということが大前提ですね。

中山次長 : 計画は、予定通り27年度に終わるというものです。

齋藤委員 : 美術館・郷土資料館なんですが、収入238千円ですよ。これは何か貸した時に料金は取らないんですか。

渡辺美術館・  
郷土資料館長 : 基本的に第1、第2展示室は無料ということになっておりますので、これは2階の実習室とギャラリーの使用料です。

齋藤委員 : 歳出は、約1,900万円ありますよね。これは全部、市の持ち出しということになりますよね。

渡辺美術館・  
郷土資料館長 : そのとおりです。

齋藤委員 : 青少年指導センターなんですが、26年度も中を直すと聞いているんですが、この予算を見るとそれが入っていないんですが、どうなんですか。

長谷川生涯学  
習課主幹 : 図書館費の中で改修費の方は見込んでおります。額としては、669千円ほど組んでございます。

鎌田委員 : 先程、図書館の管理料が8千万円くらいとおっしゃったんですが、まだ他にも1億円以上あるんですが。

足立委員長 : 細かく教えてください。

長谷川生涯学  
習課主幹 : まず、床の借上げ料ですが約31,925千円見込んでおります。これにつきましては、25年度よりは増えることになっております。理由と致しましては、学童クラブが茂原小学校へ移転しまして、その分を一度除外しましたが、図書館おきましては約196平米ですが、また増やして借りたいということで床借上げ料は約31,925千円です。

それと改修工事に約23,290千円、新しい書架等の備品ですが46,100千円、図書館情報総合システムが約9,700千円、それと南口の駐車場料金が約5,580千円となります。これで約2億円になります。

本の購入費につきましては、初年度10,000千円を見込んでおりますが、これにつきましては指定管理料の80,800千円の中に含んでおります。

- 鎌田職務代理 : そうすると次年度からは、こんなにはかからないということですね。
- 長谷川生涯学 : 改修工事費と書架の備品、合わせて約69,00万円はかからなくなります。
- 習課主幹 : 書架等が4,610万円ということですが、これは移設費というのも含まれているんですか。
- 足立委員長 : 図書を移動させる費用ですが、約8,670千円になります。
- 長谷川生涯学 : 本を移動するのが、そんなにかかるんですか。
- 習課主幹 : 現図書館でも、詰める段ボールですとか詰める費用も含んでおります。
- 鎌田職務代理 : それと運搬と移動した先での本棚まで並べる費用も含んでおります。
- 長谷川生涯学 : 図書館情報総合システムというのは、毎年かかるものなんですか。それとも最初だけですか。
- 習課主幹 : こちらにつきましても、5年間の契約を考えておりますので、毎年度同額がかかるようになります。
- 足立委員長 : 今までのものをまとめますと、初年度かかる費用というのがあるわけなんです。通年かかる費用というの、図書館の指定管理料約8千万円と床の借上げ料約3,200万円、それと図書館情報総合システム料の約1,000万円と南口駐車場約560万円。本代は別として、だいたいこれが年間にかかるものですか。
- 長谷川生涯学 : 指定管理料につきましては、2年目以降は約200万円ずつ減額の予定がございます。
- 習課主幹 : 何年で財政効果が得られるんでしょうか。
- 齋藤委員 : 今、一番大きな経費がかかっているのが人件費なんです。指定管理にすると人件費が約3割安くなります。その辺のところ、経費が節減されるということで5年で約8千万円の財政効果があると試算されております。
- 鈴木教育部長 : 今回、色々な理由があるんですが、利便性の向上だとか使いやすさだとか、そういうことも追求しておりますので今の図書館から駅前に行くことによって、備品等も入れ替えますので、綺麗な図書館になるということと、先程話に出てきました図書館情報総合システム、これは現在は図書館と駅前学習プラザと東部台文化会館の3カ所を繋いでいる状況なんです。今回より利便性を高めるといって本納と鶴枝公民館と5ヶ所の福祉センター、豊田・二宮・豊岡・五郷・東郷の5福祉センターも全部繋がります。繋げることによって本の貸し借りがその場所で出来るようになります。それから、今まで福祉センターの職員が図書館に本を取りに来ていたんですが、指定管理業者が週2回、全部の施設を回るようになりますので、より利便性が向上します。システムを導入することによって、本の検索もタッチパネルになるとかOA化の施設も最新のものになりますし、福祉センターもパソコンがオンラインで繋がりますので、利便性が向上します。
- 色々な面で一番問題になって来るのが、駐車場の話だと思うんですが、大変申し訳ありませんが現状と致しましては、利用者に対しましてご不便をおかけする部分があると思うんですが、駅前南口公共駐車場の最大90分無料券を配布します。対象は、市内在住・在勤者については90分の無料券を提供するという話になっています。それが、先程言った560万円の駐車場料金です。そのような流れの中で、一番問題になって来るのは、体の不自由な方や高齢者の車での問題が出て来るとは思うんですが、南口公共駐車場については1台障害者用のスペースがあるということで、そこが使えるという形になります。その他の問題につきましては、今後研究させて頂いて、茂小のところの元揚子江飯店の入り口には駐車スペースを15台ほど確保してあるんですが、そういうような対応はしているんですが、まだまだ優しさとか思いやりとか、そういう部分で足りないところがあることは十分承知しておりますので、何か方法はないかということで研究して参りたいと考えております。
- 長谷川生涯学 : 補足よろしいでしょうか。先程、齋藤委員からのご質問の社会教育センターの改修の件ですが、私が約669千円というお話をしたんですが、失礼いたしました。もうひと工事ございますので、そちらが約100万円、



- 足立委員長 : ゆくゆくはオンラインにしようかというところまでは考えてないですか。
- 鈴木教育部長 : オンラインの件に関しましては、そこまでは今の時点で検討されてないんですけども、インターネットを通しまして図書館のホームページへ飛べますので、そこから色々な検索もできるような形になるんですけども、そこから先、図書館にあるものを、例えばデータのものを学校で見るというオンライン的なことをやるとなると、図書館の方に電子書籍とかを導入していかないといけないということが発生して参りますので、その辺のところも含めて今後検討して参りたいと考えております。
- 鎌田職務代理 : 先程、鈴木部長がおっしゃった小学校が90何%で中学校が100%って言うのは何でしょうか。
- 鈴木教育部長 : 小中学校の図書室に、生徒数に応じて充足しなければいけない図書の冊数というものがあるんですけども、その冊数の充足率が茂原市の小学校の場合は、約90%なんですね。特定の学校は、100%超えている学校もあるんですけども、平均すると90%ぐらい。中学校の方も、全体の平均で110%ぐらいです。そういった流れの中で、少なくとも小学校の90%は100%にしたいと考えております。
- 齋藤委員 : 監査委員の元吉さんと森川さん、この方たちは教育委員会を対象にした監査委員なんですか。
- 中山次長 : 全体の監査委員です。各部署で2日か3日くらいかかっていますが、中身を見るのは大変だと思います。
- 足立委員長 : 所見の上から2番目、教職員については、ベテラン教員の退職による世代交代が進むことから若手教員等の資質向上に努められたいとありますが、この若手教員等の資質向上は誰がやるんですか。
- 古谷教育長 : これは基本的に県の職員なので、県教委が初任者研修とか5年経験した研修とか10年経験した研修とかそういうものをやります。  
茂原市の方でも、今度は現場研修というのが中心になりますので、校長や教頭とかが校内研修でやるということになります。あとは、市に関係したような、例えば茂原学とか市独自のものもやっています。それについては呼ばれば行って、研修するとかそういうことになります。ですので、市は補完的な感じになります。
- 足立委員長 : 若い人ばかりになってしまう可能性があるから、特別に今までより余計に研修をやるというのはないんですか。
- 宮本学校教育課長 : 今、教育長から答弁がありました。県の方では悉皆研修として経験年数に応じてあるわけですけども、茂原市として今年から取り入れたのが2年目から7年目の採用教員を集めて、経験を豊かにする、横の繋がりを作るための研修を、今年は2回しかできませんでしたが、初めて行ったというようなことが新しいものです。ただ、こればかりを入れると、肝心の教室を空ける機会が多くなるという弊害があるので、出来るだけ回数の中を有効に使っていかうと考えております。
- 足立委員長 : それは、2年目の人は採用された人だけですか。講師は含まないんですか。それとも講師を含めてですか。
- 宮本学校教育課長 : 残念ながら、本務者のみを対象にしております。
- 足立委員長 : 例えば、講師で2年3年やってらっしゃる方も大勢いらっしゃるわけですよ。そういう方は、対象外になってしまうんですか。
- 宮本学校教育課長 : 入れれば一番よろしいのかもしれませんが、その講師も今年も茂原でも、来年は一宮かもしれませんし、山武かもしれない。講師の場合、そういうような移るということもあるので、いずれの市町村もあくまでも本務者だけを対象にするというのが研修の形を成しているところです。
- 足立委員長 : 他に何かございますか。無いようですので、これにつきましては、これで終了いたします。次に、報告事項の5「平成26年第3回（3月臨時会）、平成26年第4回（3月定例会）及び平成26年第5回（4月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について」のご説明をお願いいたします。
- 中山次長 : 教育委員会会議の日程についてご説明申し上げます。

第3回教育委員会会議につきましては、臨時会になります。日にちは、3月11日（火）13時からお願いしたいと思います。場所は、9階の会議室でございます。第4回教育委員会会議につきましては、3月の定例会でございます。日にちは、3月27日（木）15時からお願いいたします。場所は、9階の会議室でございます。第5回教育委員会会議につきましては、4月の定例会でございます。日にちは、4月24日（木）15時から9階の会議室でございます。よろしく申し上げます。

足立委員長 : このことにつきまして、皆さん大丈夫でしょうか。  
各委員 : はい。  
足立委員長 : では、この日程において行いますのでよろしく申し上げます。  
その他報告事項はございますか。

渡辺美術館・郷土資料館長 : 林功作品展について、ご報告させていただきます。  
現在、開催しているわけですが、本日18日から4月20日までですが、会場を拡大して元々当館で収蔵していた10点を追加して展示しておりますので、お時間がございましたらご来館頂きたいと思っております。  
また、開催中の林功展でございますが、NHKの日曜美術館という番組がございます、その中で全国で開催されている美術展を紹介するアートシーンというコーナーがございます。その中で紹介されるという連絡を頂きましたので、ここでご報告させていただきます。

放送日ですが、3月9日（日）本編は9時から10時でございますけれども、このコーナーは9時45分頃からと聞いておりますので、よろしければご覧頂ければと思います。だいたい全国の美術展、5ヶ所から7ヶ所くらいを紹介して頂けるということです。ちなみに再放送は、3月16日（日）20時から21時の本編の中の20時45分頃からということですので、ご連絡させて頂きました。

足立委員長 : 他に報告事項はございませんか。  
無いようですので、以上で第2回教育委員会会議を閉会と致します。

茂原市教育委員会会議規則第27条の規定により、上記会議録が相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成26年3月27日

委員長 足立 俊夫

署名委員 鈴木 一代

署名委員 鎌田 俊郎